

る。

この時期の子どもは自分の要求に反しても母親の要求や願いを自己のものとしてとつとめる。こうして母親の要求にたいする同一化は幼児の内的な衝動の変容をきたし、良心の所有に一步近づくのである。

こうして次第に幼児が成長し、五才に達すると幼児は両親が近くにいかなくても、何が自分に要求されているか、自分勝手に行動することが決して良い結果を生まないといったことを知るようになる。これは、両親の抱いているイメージあるいは理想、希望などとの同一化、あるいはその内在化ということが出来る。

こうした幼児のなかでの自己の要求と親の要求の対立、あるいは愛と憎しみの対立はいわゆるエディプス・コンプレックスを生じ、このようなコンプレックスのなかで幼児は両親にたいする憎しみの感情と、両親にたいする願いの故に、罪の意識を感じるようになるのである。

ここに、良心あるいは審判原理としての上位自我が形成され、これがそのひとの一生を通じて基本的な道德原理として支配するのである。

それ故、この時期における両親、あるいはその他の幼児を取り巻く環境条件は、幼児の将来にとって大きな影響力をもつということができよう。

* * * * *

幼児期の道德教育について

——ベスタロッチーと

フレーベルを中心として——

広島大学大学院

猪 岡 武

云うまでもなく、宗教・道德の教育は、それぞれの意識の発展をその目的とするのであるが、ベスタロッチーはそれらの意識の本質を、愛と信頼と感謝と従順であるとした。そしてこれらの感情の最初の芽生えは、主として幼い子どもと母親との間に起る関係から生じてくるのである。かくして生じてきた諸感情は次第に成長し、そしてそれらが融合して、良心の最初のきざしが芽生えてくる。最初は母と子との本能的な感情の交流によって生じてきたこれらの感情が、やがて次第に母以外のものにまで、遠く広く及んでいくのである。

フレーベルの場合も同様である。すなわち宗教心や道德性は、母が幼児と遊んだり、遊戯をしたりする時に養いはぐくまれる。子どもが、神と自然と人間とのつながりを自覚した母や教師と遊戯をする時、彼は知らず知らずのうちに、すべてのものは調和のとれた一つの大きな共同体である、ということを感じ得し、したがって次第に人を愛し、人に感謝するようになる。

道德性が、個人並びに社会にとつて不可欠のものとしてあり、それが

個人の幸福と社会の福祉を増進することは云うまでもない。

ところがその徳性が、教育によって養い得るものであるか否かということは、ギリシャの昔にかのソクラテスが「徳は教え得るか」という命題を提出して以来、教育上最も重要な問題の一つとなつて

いる。

この「徳は教え得るか」という問に対して、ベスタロッチーとフレーベルはイエスと答えている。すなわち母と子との日常生活において、また遊びや遊戯において、宗教と道徳との芽生えを十分にはぐくむことが出来るのである。

このようにして幼児期に養われる宗教心、道徳性が、後の健全な宗教・道徳の基礎であることを思うとき、われわれは一層幼児教育の重要性を痛感するのである。

幼児の

道徳性診断テストについて

香川 大学

佃 範 夫

道徳的判断、道徳的心情、道徳的行動を道徳性評価の主要な三方向とし、道徳的判断に自主性、創造性（探究心）、責任感、正義、公德心、人権の六項目を、道徳的心情に明朗性、感謝（誠実、宗教性）

習孝行、兄弟友愛、協同性、親切、博愛の七項目を、道徳的行動（習慣）に健康、規律、礼儀、勤勞、愛物（節檢）忍耐の六項目を選び、幼児道徳性診断テストを作成した。すなわち前述の各項目について二、三個の問題を作り、五〇〇名の幼児に予備テストを試み、各問題に弁別力があるか否かを検討し、不適当と思われるものを除いた。もちろん弁別力の検討は、知能テストや学力テストの場合のように厳密な統計的処置によってきめるのは困難であるので、少なくとも二五％の上位群と、二五％の低位群との間に有意差のある問題を選ぶようにした。

このテストは、従来の多くの研究のように抽象的な文字やことばによるものではなくて、幼児の具体的な日常生活の経験を通して、極めて自然的に判断出来るように、特に絵によって子ども自身に反応させるようにし、ここにこのテストの一つの大きな特色をだそうとした。

また個人、家庭、社会など幼児の生活環境に応じて問題を構成し、それぞれの領域における欠陥を診断し、直接役立つように、これらの領域に応じてテストを再構成し、テスト1からテスト4までの四つのテストとした。なおテストの要領を理解させると共に以後のテストを順調に進める為最初に練習問題を入れた。

次にこのテストの妥当性、信頼性、採点法及び道徳性偏差値などの問題がおこってくるが、これらの問題については次の機会に報告したいと思つてゐる。

（具体的テストを掲載したいと思つたが、テストが絵であるため凸版の都合上ここに示されないのが残念であるが御了承いただきたい。）